



環境活動報告書

Environmental activity report

2020

目 次

● ステークホルダーのみなさまへ	2
● 環境理念と行動規範	3
● 環境方針	4
● 環境マネジメントシステム	5
● 環境マネジメントの取り組み	6
● 環境法規の遵守状況	9
● 環境基金委員会報告	10
● リサイクル報告(2020年度回収量の報告)	11
● 組合員の環境活動トピックス	12
● 地球温暖化防止の取り組みと結果	14
● 事業所の電気使用量の取り組み	16
● 店舗事業の電力使用量削減結果	17
● 燃料使用量削減の取り組みと結果報告	19
● 太陽光発電レポート	20

ステークホルダーのみなさまへ

環境報告書をご覧いただきありがとうございます。この環境報告書をとおして、コープおおいたが今年1年取り組んだ環境活動の状況と成果を、関係する多くのみなさまにお知らせすることで、妥協せずに環境活動に取り組むモチベーションにつながっています。



専務理事 江藤 隆康

この1年、わたしたちを取り巻く状況は、コロナ一色でした。多くの企業が対応に奔走した1年間となりましたが、未だ出口の見えない状況に変化はありません。物事に多くの制約がかかる中で、環境活動等の取り組み自体が、優先事項から外されやすい状況ですが、長期的に取り組みをすすめることを宣言している企業は着実に前進が図れているものと推察できます。毎年、排出されるCO₂は減少していますが、このペースでは10年後、2013年度比40.6%減という積極的な目標設定には届きません。現在実施している取り組みも立ち止まることのないように継続し、さらに抜本的な取り組みが求められます。

コープおおいたは組織率35.9%、県内17.8万世帯の消費者組織となりました。組合員並びに関係する多くの取引先や諸団体のみなさまに支えられ、ここまで成長することができています。これまでコープおおいたと接点の少なかった方々に対してもわたしたちの活動をお知らせするツールとしてこの環境報告書があります。日頃の活動が自己満足にならないように、多くのご意見をいただくきっかけになれば幸いです。地球環境について、世の中の注目が集まりつつある中で、わたしたちの取り組みの成果が少しでも役に立っていることを願っています。

さて先般、日本生活協同組合連合会では、「2030環境・サステナビリティ政策」を策定しました。そこには、具体的なアクションプランである「10の行動指針」と、将来のありたい姿をイメージしながら制定した「2030目標」によって構成されています。この政策の実践をとおして、SDGsの実現に貢献しようとしています。多くのステークホルダーと協働し、次世代の未来を維持・発展させることができるよう、すべての人々が人間らしく生きられる豊かな地球を届けることが、今を生きるわたしたちの責任でもあります。それぞれの立場で連携しながら、その役割を遂行していくことを宣言したいと思います。

「2030環境・サステナビリティ政策」
10の行動指針
～関連するSDGs目標～

12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	7 エネルギーを安全に持続可能に	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	1 貧困をなくそう
8 働きがいも経済成長も	3 すべての人に健康と福祉を	2 気候変動に具体的な対策を	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	17 パートナリシップで目標を達成しよう

おわりになりますが、これまで以上に多方面からご協力をいただくことになると思います。この環境報告書をお読みいただき、未来への責任を考える機会にさせていただけると幸いです。

今後とも引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



環境理念と行動規範

生活協同組合コープおおいたは、事業者として求められる社会的責任を果たし、生活協同組合として地域社会におけるアクションリーダーの役割を果たしていくことを基本理念として掲げ、下記に上げる行動規範(考えたり、行動したりする時の基準)に沿って行動します。

◇責任性の視点

国や行政監督省庁の指針や指導・指摘事項に沿った責任を果たす姿勢

◇規律性の視点

関連法令、条例を遵守する姿勢

◇積極性の視点

地域社会の中で先頭に立って積極的に取り組む姿勢

◇先進性の視点

地域社会の中で未だ事例のない先進的な取り組みに果敢に取り組む姿勢

◇公開性の視点

行動計画、実際に取り組んだ行動や結果を内外へ積極的に広報する姿勢責任性、規律性の視点は一事業者として求められる社会的責任を果たしていくコンプライアンス(法令遵守)の考え方です。厳しい事業環境下にあっても、社会的責任は果たしていく決意を表しています。

積極性、先進性の視点は、生活協同組合として地域社会におけるアクションリーダーの役割を果たしていくことを表しています。地域社会における消費者団体として要求事項を超える取り組みを行ない「生協に入ってよかった」、「生協のある町に住んでいてよかった」と評価していただける組織として在り続けたいとの願いを込めています。

公開性の視点は、時々の経営状況報告はもちろん、「環境保全活動に関わる要求事項に関する情報発信」、「それに伴う活動計画」、「活動した内容と評価について」、関わる全ての人が、同じ目線で同じ理解ができている状態を作ることが必要だと考えます。内外広報の実施に関する誓約の意思と、生活協同組合コープおおいた全てのステークホルダーのみなさまへ、定期的に活動の報告をさせていただく決意を表明しています。



環境方針

地域の中で、事業活動を行う組織として求められる社会的責任を果たしていく上で、生活協同組合コープおおいたは、環境理念、行動規範に沿い、以下に掲げる環境活動方針に則って行動しています。

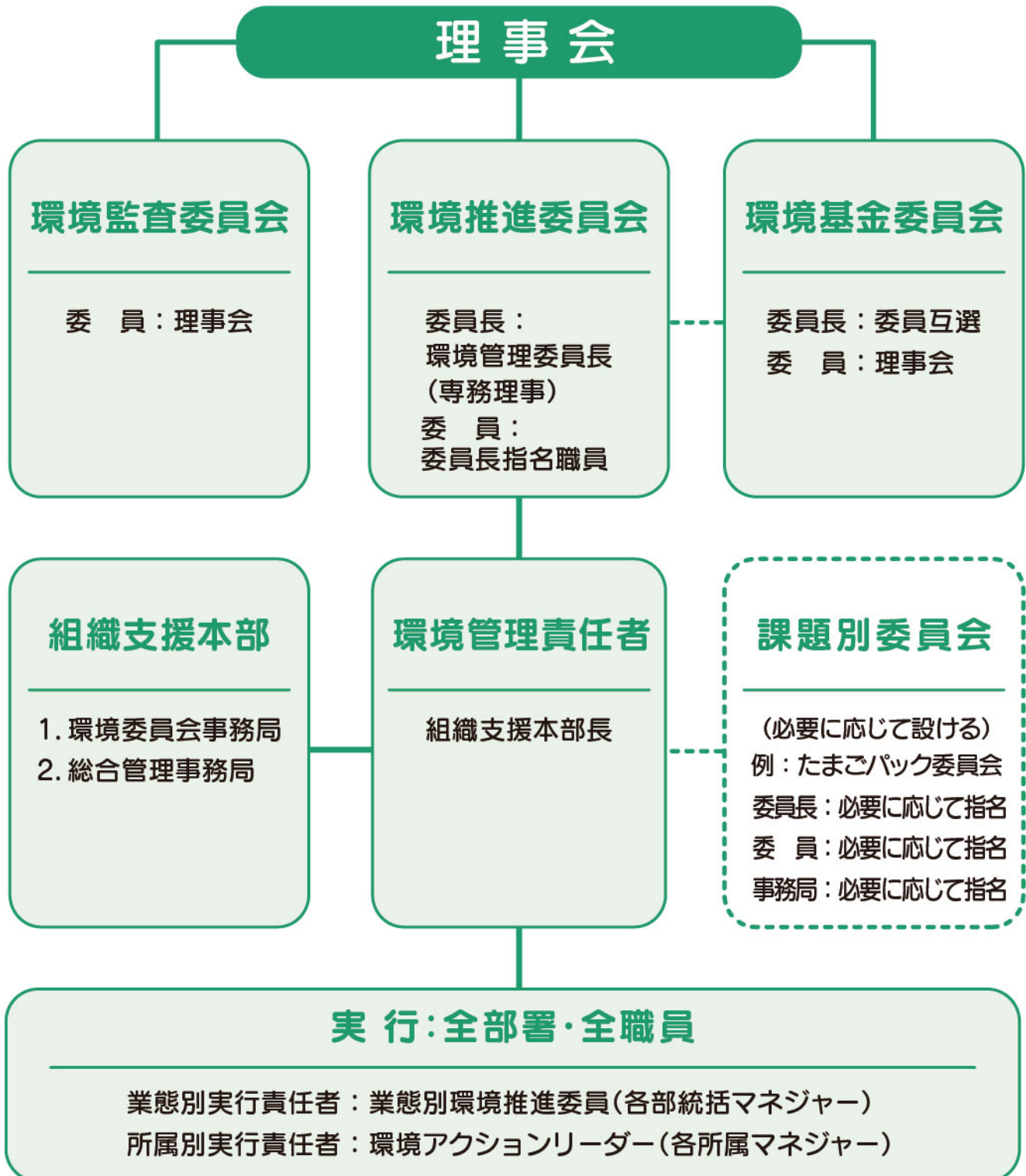
～生活協同組合コープおおいた 事業活動分野環境方針～

1. 生活協同組合コープおおいたは、環境問題を生協運動の根源的課題として位置づけ、その行う事業活動、取り扱う商品、行うサービスにより発生する環境影響の大きな項目について、環境に関わる法令、条例、受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境の保全活動を自ら設定し、率先して取り組みを実行します。
2. 設定した環境保全活動目標は、環境マネジメントシステムに従って確実に実行していき、定期的に検証と見直しを行い、最善を尽くします。
3. 以下の事項を、環境保全活動の柱に置き、活動をしていきます。
 - ① 組合員および事業連合や取引先の方と協同して、産直商品やコープ商品を中心に、より環境負荷が少なく、安心・安全な商品づくりを進めながら、環境に配慮したもののうち、年度毎に重点商品を設定し、普及します。
 - ② 各事業所におけるエネルギー（電力、ガス、車両燃料など）使用効率を高めて、供給高1億円あたりのCO₂排出量を、定期的に実測把握・検証し、抑制します。
 - ③ 容器包装及び梱包材の削減と再資源化を推進します。
 - ④ 紙の使用量を削減します。
 - ⑤ エコドライブ（急発進、急加減速、急なハンドル操作をしないなど）を実践し、業務車両の燃費向上とともに廃棄ガスに含まれる有害物質の排出を抑制します。
 - ⑥ 店舗の商品ロスなどの廃棄物削減と再資源化を推進します。
 - ⑦ 環境配慮型の施設づくりを推進します。

以上の活動を進めるために、学習の場や会議などを通じて、すべての職員に対する教育・啓発を積極的に行います。この環境方針はコープおおいた内外に公表します。

環境マネジメントシステム

事業活動分野の環境活動計画の立案と実行、検証について以下の組織体制に基づき、環境管理委員長である専務理事直轄の環境推進委員会を中心に進めています。諸活動の検証は、環境監査委員会が事務所監査等を実施し、年に一度、理事会への報告書を含めて活動の評価と、改善や指摘をいただいています。



環境マネジメントの取り組み

環境推進委員会の報告

環境推進委員会を定期開催し、環境マネジメントの取り組みを推進しました。

事業活動分野の推進指標は、2019年度に引き続き「供給高あたりのCO₂排出量」に設定し、「環境に配慮した事業活動」を行うための施策検討～実行～振り返り～新たな計画と進めてまいりました。

2030環境目標設定に向けた取り組み

2017年5月、「日本生活協同組合連合会 2030環境目標検討委員会」は、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対し、SDGsやパリ協定など国際的な枠組みをふまえた温暖化対策の方向性と、生協が目指すべき削減水準について、以下の「提言」にまとめました。

2030環境目標検討委員会の提言

①自生協で2030年温室効果ガス削減計画を策定し実践を開始すること

- ・2030年:CO₂排出総量を基準年比40%削減する(基準年2013年)
 - ・2050年:CO₂排出総量を基準年比90%削減する(基準年2013年)
- 】 目指すべき
水準・ベクトル

②省エネ対策を徹底し、設備や車両を環境の視点から見直していくこと

- ・省エネ機器の導入や改修を経営計画の中に織り込み、新規省エネ技術の積極的な導入をしていく。
- ・宅配・物流車両を次世代車両へ切り替える。生協の連帯による取り組みが必要。

③再生可能エネルギーの電源開発に生協全体で取り組むこと

- ・原発に頼らない社会と脱炭素社会のため、**再エネ電源10億kWh(設備容量500MW相当)**の電源開発に取り組む。

④組合員とともに、学び、共感を広げていくこと

- ・気候変動問題の現状と、私たちのくらしや事業のプロセスが環境や社会に及ぼす影響を認識する。

⑤地域とともに持続可能な社会をつくる動きを作り出していくこと

- ・自治体との連携でエネルギー地産地消を。協同組合、NPO、大学や研究機関などとの連携を作る。

コープおおいたでも、2030環境目標設定のために、「現状分析」～「BAU推計等による削減必要量の把握」～「削減可能対策の検討」を進めてきました。

2019年度に「2030環境行動計画の策定」を行い、目標達成に向け取り組んでいます。

環境監査委員会を実施しました

1. 環境監査方針

- ①引き紐等、エコ事業所の推進状況の確認
- ②電力使用量・使用料金の増加事業所の要因と対策提起
- ③省エネチューニング実施の把握

2. 監査結果報告

(1)H&Eチーム省エネチューニング

未実施

(2)環境基金監査

実施日:2020年5月8日(金) 場所:二目川センター

①2019年度環境基金決算報告書の確認

《主な報告》組織支援本部長より別紙に基づいて報告がありました。

②2019年度:環境基金委員会活動報告

③2019年度:環境基金決算 ④2019年度:環境基金委員会方針・予算

〈所見〉

⇒例年、公募で申し込みがあり、良い地域社会貢献の企画として、毎年取り組まれているので、今後も継続を望みます。

⇒コープらしさが失われているという意見が出ている中、とても良い取り組みをされています。以前、気象予報士の学習会イベントを企画したとき、「生協だからこそ、我々を呼んで環境活動されている。我々を支えてくれている。これからも生協らしい取り組みを継続してほしい。」と言われたことがあります。環境基金の取り組みは、まさにその代表的な1つの活動。ぜひ、継続してください。

(3)事業所監査


【二目川センター】 実施日:2020年8月12日(水)

○全体的によく整理整頓されていました。手洗いや「エコ」に対するシール(表示)などもあり、好感が持てました。無人室をもう少し用途別に整理されると、もっとよくなると思います。暑い時期、部屋の入退室時の温度設定に注意をお願いします。

【コープうすき】 実施日:2020年9月17日(木)

○全体的によく整理整頓されていました。至るところに「節電」などの表示があり、職員





の意識を高めているように感じます。

○良いところは是非続けていただけるとうれしいです。昨年から改善されているところが多かったです。

【コープ別府店】 実施日:2021年1月21日(木)

○とてもよく整理整頓されて、店長の細やかな日々の努力がみられました。「節電・節水」という観点では、ちょっとした表示があると改善していくのではないかと思います。表示がないからできていないというわけではないので、余裕があれば検討されてみてください。

(4)環境会議監査(環境推進委員会) 実施日:2021年2月16日(火)

⇒リニューアルしたCO・OPふらいるが、CO₂排出量削減の顕著な結果を出していることから、設備を整えていくことも大切だと感じました。しかしながら、どの事業所も前年度に比べて良い結果を出せているのは、既存の設備でも心がけや工夫で改善しているからだと思います。コープおおいた全体の省エネへの意識の高さを実感しました。

⇒センター・店舗とも、すっきりと丁寧に整理され、休憩室等感染対策もしっかりと行われていました。色々な所で、省エネに取り組んでいる様子が伺えました。継続されてください。

3. 年間のまとめ:総評

①前年度と比較すると改善されていることが多く、各事業所の取り組みがしっかりされていると思いました。一方でカタログ回収率が低かったり、コロナ禍で一度の買い物量が増えたために、マイバッグに加えてレジ袋を使用される方が増えたりと新たな課題もみえてきました。1つひとつの課題に向き合いつつ、さらに環境への意識を高めていけるといいと思います。

②営業時間短縮による電力消費量や、環境活動ができないことにより助成団体が少なかったことなど、コロナ禍の影響を受けた店舗が多かったと思います。

全体で報告を共有し、改めて環境に対する意識を高めていくことが大切だと思います。

環境法規の遵守状況

法規制は、環境マネジメントにおいて最も基本的な要素であり、その遵守に努めています。関連する主な環境関連法規及び規定は次のとおりです。

尚、2020年度において順守事項についての対応は、問題なく実施することができました。

法律・条例名	遵守事項	実施内容
消防法	防火管理者の設置。	防火管理者の選任及び変更届を提出しました。 設置部署の定期点検を実施しました。
水質汚濁防止法	店舗の惣菜フライヤーの使用 済み油の措置。	油の流出事故時の措置として関係者へ 管理手順の教育実施をしました。
浄化槽法	浄化槽の定期水質検査、保守 点検、清掃の実施。	保守点検の定期実施と年1回の法定検 査を実施しました。
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	廃棄物の排出を抑制し、廃棄 物を適正に分別・保管・収集・ 運搬・再生・処分する。	産業廃棄物処理委託業者の許可証有効 期限を点検・確認しました。 マニフェスト(産業廃棄物管理票)の発 行を確認し、行政への定期報告書を6月 までに提出しました。
食品リサイクル法	食品廃棄物の発生抑制を優 先し、「発生抑制」「再生利用」 「熱回収」「減量」を促進。 45%の再生利用を実施。	8店舗で排出された生ゴミの堆肥化を 実施し、リサイクル堆肥を使用した野菜 の生産と店舗での販売を行ないました。 行政へ定期報告書を6月までに提出し ました。
容器包装 リサイクル法	容器包装廃棄物の排出の抑 制、分別収集および再商品化 を促進。	(財)日本容器包装リサイクル協会と再 商品化委託契約を結び再商品化義務を 履行しています。 行政への定期報告書を6月までに提出 しました。
エネルギーの使用の 合理化に関する法律 (省エネルギー法)	〈工場等〉 特定事業者認定による定期 報告書の提出。	経済産業局および農政局へ定期報告 書・中長期計画書を7月までに提出し ました。

環境基金委員会報告

レジ袋削減の益金を「環境基金」として毎年積み立てています。2020年度も、環境基金委員会で基金の用途について協議し、環境に関することに有効活用していくことを決めました。

「環境基金」は地域で環境活動を熱心に行っている団体やグループへの助成(コープおおいた環境基金助成金)、県内の認可幼稚園・保育園へ環境に関する絵本の寄贈、大分県への寄付(大分県地域環境保全基金寄付金)、里山保全活動をしている大学への助成(里山保全等環境保護活動研究助成金)に有効活用しました。



大分県地域環境保全基金寄付金贈呈



大分県私立幼稚園連合会へ絵本を贈呈



大分県保育連合会へ絵本を贈呈



APU(立命館アジア太平洋大学)へ
里山保全活動助成金贈呈

～2020年度 コープおおいた環境基金決算報告～

収入の部	
前期繰越金	7,311,350
レジ袋益金他	1,873,335
収入の部合計	9,184,685

支出の部	
障がい者施設リサイクル作業料	546,984
大分県地域環境保全基金寄付	115,000
絵本の寄付	463,491
里山保全等環境活動研究助成金	200,000
環境基金助成金	760,000
交通費等	6,520
会議費等	14,960
委託料(残高証明手数料等)	10,840
予備費	0
支出の部小計	2,117,795
次期繰越金	7,066,890
支出の部合計	9,184,685

リサイクル報告(2020年度回収量の報告)

コープおおいた 環境活動

「一人ひとりの一歩は小さいけれど、みんなの力を合わせれば大きくなる」を合言葉に、2020年度も多くの組合員の皆さんに、コープおおいたの様々な環境活動にご協力いただきました。



2020年度 回収量の報告

古紙類(牛乳パックとカタログ等)

約924,048kg
(前年比 101.7%)

回収量の7割がトイレトーパーやティッシュの実質の原料となります。
コアノンロール130m(S)1個276gで換算。
約234万3,600ロールが再生されました。

タマゴパックの回収量

約5,295kg
(前年比 119.3%)

タマゴパックは、古紙や木屑と一緒にリサイクルされてRFPという固形燃料に再生されます。
RFPはさまざまな工場でボイラー燃料として利用されます。

プラスチックトレーの回収量

約2,963kg
(約59万2,600枚)(前年比 111.1%)

枚数は1枚平均5gとして換算。
回収されたトレーは、一旦溶かされてエコトレーになります。店舗に入っている一部のトレーはリサイクルされたエコトレーです。

マイバッグ持参数

3,826,768人
(前年比 91.9%)

マイバッグ持参率89.1%。
(持参数前年比91.9%・持参率101.1%)
レジ袋1枚に原油10ml(原料+製造エネルギー用)が使用されています。

ペットボトルキャップの回収量

約2,613kg
(約104万5,200個)(前年比 119.2%)

回収したペットボトルキャップは、回収業者を通じてプラスチックのリサイクル原料として再生され、トレーや園芸用品になります。

集品袋・カタログセット袋回収量

約6,321kg
(約2,107,000枚)(前年比 94.7%)

1枚平均3g(333枚/1kg)として換算。
リサイクルポリ袋として再生されています。

廃油回収量(店舗のみ)

約39,993ℓ
(前年比 100.7%)

ドラム缶に換算すると、約199本分に相当。バイオディーゼル燃料として生まれ変わっています。
※コープおおいたでは燃料として使用せず、廃油の回収のみ行なっています。



※コープ大分駅店はテナント出店のため、リサイクル回収BOXの設置、廃油の回収ができず対象外となります。

	回収量	単位	係数	単位	t-CO ₂
牛乳パック・カタログ	924,048	kg	0.036500	CO ₂ /t	33.73
レジ袋	5,180,167	枚	0.001167	kg/枚	6.05
タマゴパック	5,295	kg	2.632800	CO ₂ /t	13.94
プラスチックトレー	2,963	kg	2.632800	CO ₂ /t	7.80
製品袋・カタログセット	6,321	kg	2.632800	CO ₂ /t	16.64
廃油回収	39,993	L	2.952800	CO ₂ /t	118.06
ペットボトルキャップ	2,613	kg	2.632800	CO ₂ /t	6.88
					合計 203.13

組合員の環境活動トピックス

親子体験スクールin清川(体験農場)

2009年から行われている豊後大野市清川町での体験農場は、新型コロナウイルスの影響で秋の収穫体験のみとなりました。10月10日(土)、午前40名、午後39名、11月14日(土)午前36名、午後36名と2日間の午前と午後に分けて収穫体験を行いました。

この圃場では店舗から出される残渣(野菜のくず、魚のアラなど)を堆肥として再生した「エコ堆肥」を使用しており循環型農業の実践に繋がっています。



家庭から取り組む環境問題

環境問題が大きく取り上げられるようになった昨今、ごみの減量化・資源化がなぜ必要かをオンライン会議システム「Zoom」を使って学習をしました。紫外線の強さで色が変わる「紫外線チェックビーズ」を使ったストラップづくりなどのワークショップも行いました。



牛乳パックとコアノンロール交換会

コロナ禍での環境活動で、三密予防からドライブスルー形式や事前予約制での牛乳パックの交換会を行いました。牛乳パック10枚でトイレトーパー1ロール交換します。この交換会を通じて環境に対する意識を深めることが出来ました。



地球温暖化防止の取り組みと結果

地球温暖化防止自主行動計画について

環境方針「各事業所におけるエネルギー（電力、ガス、車両燃料など）使用の効率を高めて、供給高1億円当りのCO₂排出量を、定期的に実測把握・検証し、抑制します。」を重点に、事業と環境の連動に取り組みました。

取組方策は、「3つの改善」の実行にあるといわれています。

設備改善

- ▶ 照明のLED化、高効率の冷凍冷蔵庫や空調設備への切替などです。
- ▶ 投下コストの兼ね合いはありますが、省エネ効果は大きい。（CO・OPふらいる、コープうすき、コープつくみなど）

調達改善

- ▶ 電力料金、CO₂排出量の削減観点には欠かせない改善方策。
- ▶ PPS事業者へ切替後、地域電力（九州電力）に切替えることで、効果的な改善を実現できています。

運用改善

- ▶ 10年前に、本格的に「省エネ・CO₂削減」を目指したときに取り組み効果を上げました。
- ▶ 健康管理や商品管理との兼ね合いはありますが、取り組んでいきます。

※調達改善の一環として、この間「PPS事業者からの調達を経て、九州電力に調達先を変更」してきました。この報告書で使用している「九州電力のCO₂排出係数」は以下のとおりです。

CO₂排出係数

2018年度（使用期間）	0.000463 t-CO ₂ /kWh
2019年度（使用期間）	0.000347 t-CO ₂ /kWh
2020年度（使用期間）	0.000371 t-CO ₂ /kWh

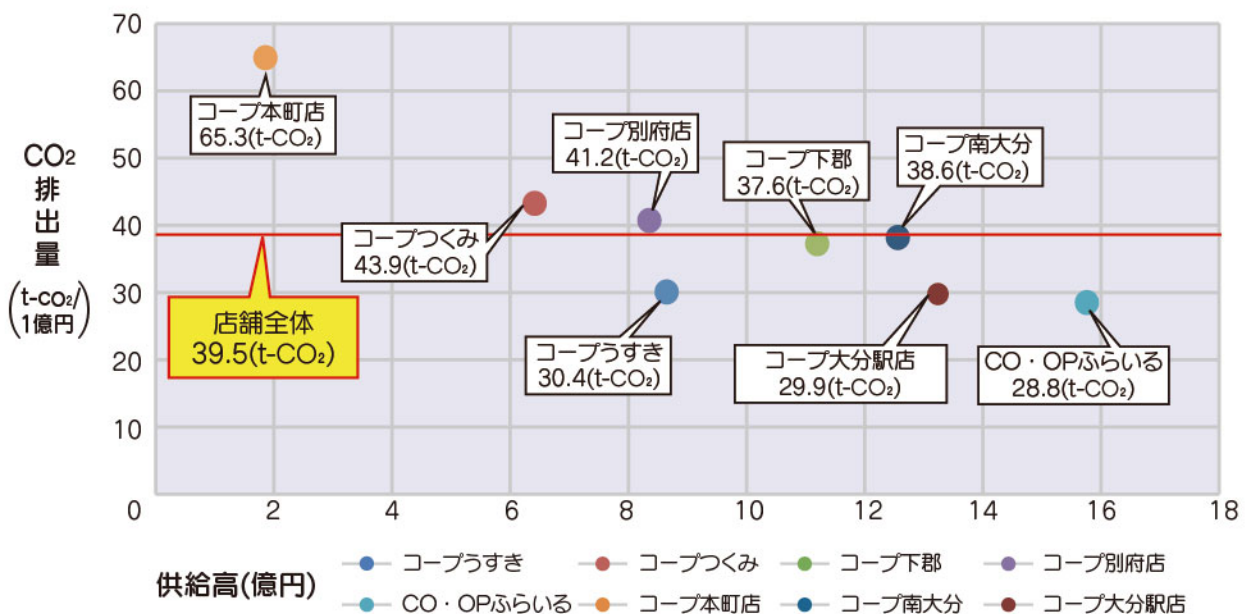


供給高1億円当りのCO₂排出量は、2019年度対比**4.8%削減**(総量ベース)、実質で**5.5%削減**できました。

◇2020年度の取り組み結果

	使用量	単位	CO ₂ (t-CO ₂)	供給高	供給高当りCO ₂	供給高当りCO ₂ (2019年度参考)		
電力(九州電力)	8,984,845	kWh	3,333	194.55 (億円)	23.12 (t-CO ₂)	24.28 (t-CO ₂)		
ガソリン	228,922	ℓ	531					
軽油	214,786	ℓ	554					
灯油	230	ℓ	1					
ガス	12,055	m ³	79					
合計			4,498					
太陽光	710,626	kWh	264					
リサイクル	P11参照		203					
削減効果			467					
実質排出			4,031				20.72	21.93

2020年度 供給高1億円当りのCO₂排出量の散布図



事業所の電気使用量の取り組み

■主たる取り組み

① 空調・冷蔵室外機高圧洗浄

空調や冷凍・冷蔵ショーケースの室外機には、ごみ・ほこり・カルキ等が付着することにより、吸気効率が悪化し電力負荷が大きくなってしまいます(外気を吸い込む場所の目詰まり等を取り除くことで、外気取り込みがスムーズになり、効率が良くなります)。



室外機のフィンを傷めないように「専用溶剤(希釈)」を使い、見た目もきれいにします。



吸気が大きく改善
(2.6ppm→3.3ppm)

② 空調・冷蔵室外機への散水噴霧対策

冷蔵庫や空調機の室外機の吸気温度が上昇して効率が低下しています。室外機熱交換部へ吸気温度の低減を目的とした噴霧装置や散水装置を設置し、大きな省エネ効果を得ました。店舗によっては散水システムやタイマーが劣化してきているので、2021年度に新しくする予定です。



③ 冷蔵冷凍室外機 ショートサーキット防止対策

冷蔵庫や空調機の室外機の排気(温風)を吸気部分から極力吸い込ませないようにすることで、効率を上げていこうという対策です。

温風排気遮断(防止)板を設置し、暖気の吸込み防止と遮光という省エネ効果を得ました。

■2020年度 店舗・センター別省CO₂対策

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CO・OP ふらいる	ショートサーキット防止板の補修、再設置		●						●				
	冷凍冷蔵室外機 吹き出し口調整		●						●				
	室外機洗浄		●		●			●					
	外調機 OAダンパ調整				●								
コープ南大分	ショートサーキット防止板の補修、再設置		●						●				
	室外機散水(霧吹)設備メンテナンス、稼働		●		●			●					
	室外機洗浄		●		●			●					
コープ下郡	ショートサーキット防止板の補修、再設置		●						●				
	室外機散水(霧吹)設備メンテナンス、稼働		●		●			●					
	室外機洗		●		●			●					
コープうすき	室外機洗浄			●				●					
コープつくみ	室外機散水(霧吹)設備メンテナンス、稼働			●				●					
	室外機洗浄			●				●					
コープ本町店	室外機洗浄			●				●					
	室外機散水(霧吹)設備メンテナンス、稼働		●		●			●					
コープ別府店	室外機洗浄		●		●			●					
	空調サイクリック制御(間引き運転制御)調整			●						●			
畑中センター	室外機散水(霧吹)設備メンテナンス、稼働		●					●					
	室外機洗浄		●					●					
二目川センター	室外機洗浄		●					●					
宇佐センター	室外機洗浄			●				●					
	冷蔵・冷凍庫稼働状況最適化			●		●							
三重センター	室外機散水(霧吹)設備メンテナンス、稼働		●					●					
	室外機洗浄		●					●					
日田センター	室外機洗浄		●					●					
	冷蔵・冷凍庫稼働状況最適化				●								

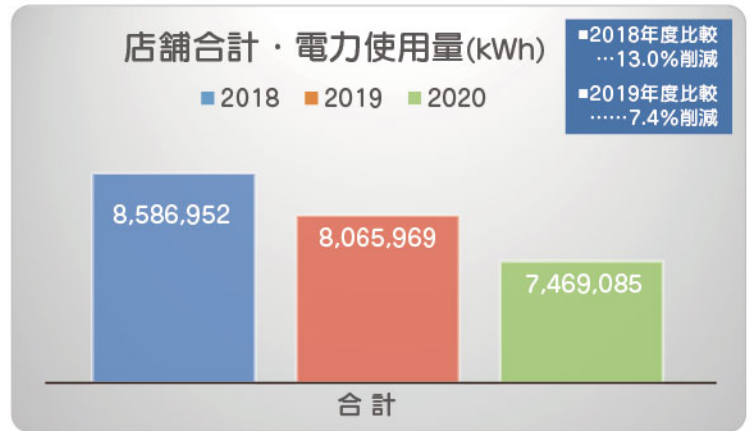
店舗事業の電力使用量削減結果

店舗別・電気使用量の推移

店舗の合計電力使用量の3年間比較

店舗の省エネ機器更新や現場での運用改善の効果を上げることができました。

2019年度比較で7.4%削減できました。



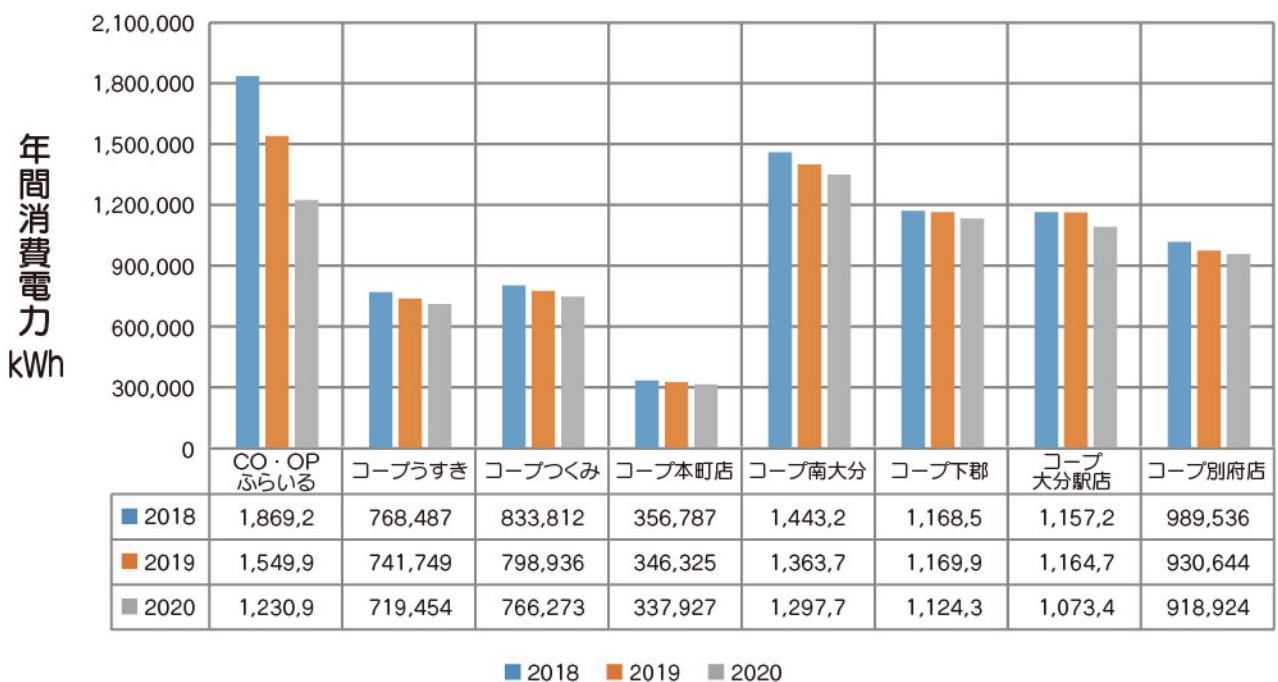
店舗の合計電力使用量推移の3年間比較

全ての店舗で、使用量の減少を達成できています。「CO・OPふらいる」「コープうすき」「コープつくみ」は、機器の省エネ型への更新効果を持続できています。

コロナ禍という状況下、また供給が総じて増えている中で「使用料を全店舗で削減できた」のは、努力の賜物です。

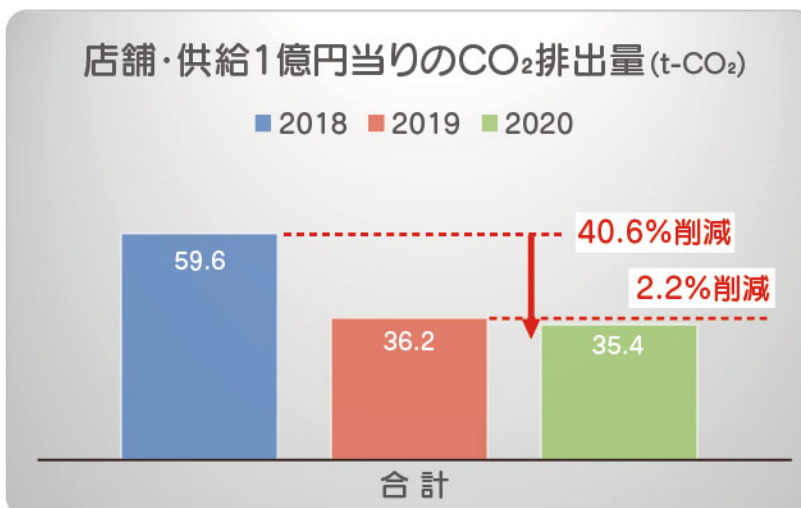
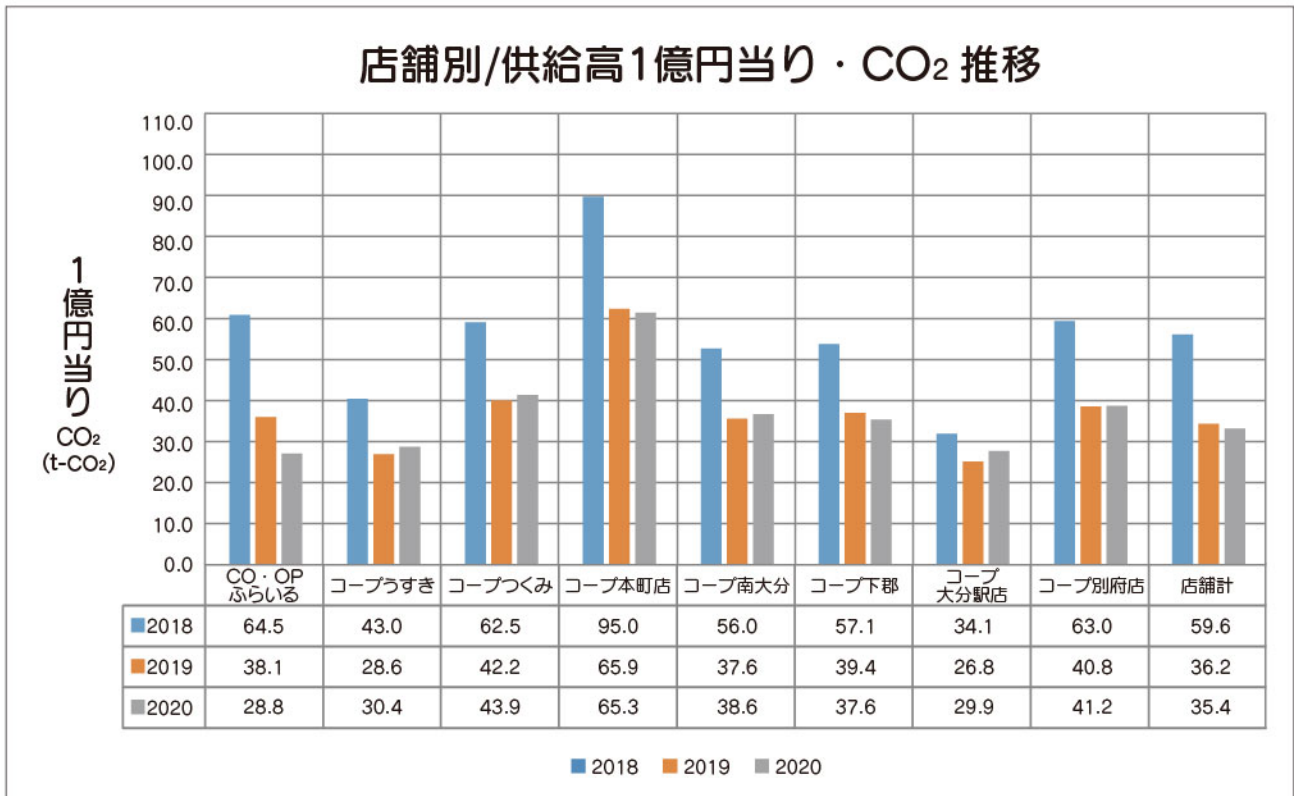
運用改善の徹底、夜間の時間短縮による削減効果が大きいと考えられます。

店舗別/電力使用量推移



店舗別の供給高当りのCO₂排出量の推移

コープおおいたの、地球温暖化対策指標として「供給高1億円当りのCO₂排出量」の低減を自主活動計画にうたっています。



電力使用量が大きく削減できたことで、供給高が増えている現状でも、2.2%と削減できました。

※電力調達先(九電)の2020年度CO₂排出係数が高くなったことで、使用量削減ほどの削減結果となっていません。また、電力会社の排出件数が見直しされた為、昨年度発行「環境活動報告書2019」と資料の数値が異なります。

燃料使用量削減の取り組みと結果報告

削減取り組みは、「供給高1億円当りのCO₂排出量」を指標に、推進してきました。

取り組みの柱である「安全エコドライブ」を業務で運転する職員に徹底すべく、その学習と実践を強めてきました。

供給高が増えたことや、配送分野を主に担っているコープサービスおおいたの日々の努力の積み重ねもあり、配送分野の供給高1億円当たりCO₂排出量は、**11.6%削減**(2019年度対比)しました。

全体でも、燃料に関しても供給高1億円当りのCO₂排出量が**7.2%削減**(2019年度対比)を達成しています。※畑中センター(個配)の関係で、委託業者(流通サービス)の実績も取り込んでいます。

全体		2018年度		2019年度		2020年度	
		実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)
ガソリン(ℓ)	CO ₂ 排出量	169,994	394	188,845	438	215,247	499
対前年対比				111.1%	111.1%	114.0%	114.0%
軽油(ℓ)	CO ₂ 排出量	244,754	631	246,940	637	223,566	577
対前年対比				101%	101%	91%	91%
LPGガス(m ³)	CO ₂ 排出量	27,029	81	24,721	74	25,381	76
対前年対比				91%	91%	103%	103%
合計	CO ₂ 排出量	441,777	1,107	460,506	1,149	464,194	1,152
対前年対比				104.2%	103.8%	100.8%	100.3%
供給高	1億当りCO ₂	180.46	6.13	180.15	6.38	194.55	5.92
対前年対比				99.8%	104.0%	108.0%	92.8%

コープおおいた		2018年度		2019年度		2019年度	
		実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)
ガソリン(ℓ)	CO ₂ 排出量	122,440	284	134,260	311	137,967	320
対前年対比				109.7%	109.7%	102.8%	102.8%
軽油(ℓ)	CO ₂ 排出量	9,075	23	11,269	29	10,722	28
対前年対比				124.2%	124.2%	95.1%	95.1%
合計	CO ₂ 排出量	131,515	307	145,529	341	148,689	348
対前年対比				110.7%	110.8%	102.2%	102.1%
供給高(店舗)	1億当りCO ₂	80.90	3.80	77.41	4.40	78.16	4.45
対前年対比				95.7%	115.8%	101.0%	101.1%

コープサービスおおいた		2018年度		2019年度		2019年度	
		実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)
ガソリン(ℓ)	CO ₂ 排出量	47,554	110	54,585	127	77,280	179
対前年対比				114.8%	114.8%	141.6%	141.6%
軽油(ℓ)	CO ₂ 排出量	226,770	585	224,172	578	204,064	526
対前年対比				99%	99%	91%	91%
合計	CO ₂ 排出量	274,324	695	278,757	705	281,344	706
対前年対比				101.6%	101.4%	100.9%	100.1%
供給高(宅配)	1億当りCO ₂	99.56	6.98	102.74	6.86	116.39	6.06
対前年対比				103.2%	98.2%	113.3%	88.4%

流通サービス		2018年度		2019年度		2019年度	
		実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)	実績	CO ₂ (t-co ₂)
LPGガス(m ³)	CO ₂ 排出量	27,029	81	24,721	74	25,381	76
対前年対比				91.5%	91.5%	102.7%	102.7%
軽油(ℓ)	CO ₂ 排出量	8,909	23	11,499	30	8,780	23
対前年対比				129%	129%	76%	76%
合計	CO ₂ 排出量	35,938	104	36,220	104	34,161	99
対前年対比				100.8%	99.8%	94.3%	95.2%

太陽光発電レポート

太陽光発電の発電量は、順調に推移しています。これは、日射量が多いという事もありますが、定期的に行っている適切なパネルメンテナンスが大きく貢献していると考えられます。

大分県の住宅1戸あたりの電力消費量が(5,486kWh)ですから、総発電量は、130戸分に相当します。

生協として、再生可能エネルギーによる発電という事業を通して、温暖化防止の一助となることを支援していきたいと考えています。

◇年間発電実績

単位：kWh

	2018年度	2019年度	2020年度
コープ南大分	211,968	200,934	224,412
コープ下郡	189,999	178,651	192,415
三重センター	55,022	49,407	58,113
宇佐センター	58,851	58,582	58,928
日出センター	57,827	56,603	58,867
コープ別府店	57,569	56,451	62,284
コープうすき	54,996	48,459	55,607
合計	686,232	649,087	710,626



日出センター



宇佐センター



コープ別府店



コープうすき

A series of 25 horizontal green lines spaced evenly down the page, providing a template for handwriting practice.





環境活動報告書

発行: 2021年6月

お問合せ: 総務部 (☎097-524-0111)

ホームページアドレス <https://www.oita.coop>